

2022年7月29日

住宅性能向上委員会 WG、SWG1、SWG2 委員各位

(一社)住宅生産団体連合会
住宅性能向上委員会 SWG1 西澤

「階数が2以下の木造建築物に係る見直し後の長期使用構造等基準（耐震性）に加えて配慮することが望ましい事項について」のご案内（その2）

2022年7月15日に「階数が2以下の木造建築物に係る見直し後の長期使用構造等基準（耐震性）に加えて配慮することが望ましい事項について」としてご案内しましたが、この度、「階数が2以下の木造建築物に係る見直し後の長期使用構造等基準（耐震性）に加えて配慮することが望ましい事項について（土台等に対するめり込み）」として、負担面積ごとの柱径、添え柱の要否について取りまとめた資料および、階数が2以下の木造建築物における負担面積の事例が、国総研より提示されました。

より詳細な検討資料となります、

7月15日ご案内の資料と合わせて、ご確認いただきますようお願いいたします。

資料

202207_めり込みの検討（ZEH）_追記 v2.pdf

220720_めり込み負担面積 r.pdf

以上